

令和6年度 第4回 帯広市健康生活支援審議会 議事録

日 時：令和7年2月25日（火）

19：00～19：20

場 所：市役所本庁舎10階 第6会議室

（事務局）

本日はお忙しいところ「帯広市健康生活支援審議会」にご出席いただきましてありがとうございます。審議会開催にあたりまして、池原副市長より挨拶を申し上げます。

（池原副市長）

本日は、大変お忙しいなか、夜分にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。皆様には、日頃から様々な分野で、ご尽力、ご協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

当審議会では、保健・医療・福祉に関する重要施策について、ご審議・ご意見をいただいております。とりわけ今年度は、地域福祉計画をはじめ、アイヌ施策推進計画や子ども・子育て支援事業計画の策定にご協力いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、本日の会議では、市民福祉部に関係する令和7年度予算案の概要、そのほか主要事業などについてご審議いただく予定となっております。詳細は、のちほど説明いたしますが、来年度予算では、ひきこもり支援事業の拡充のほか、6箇所の地域子育て支援センターへの地域子育て相談機関の併設、それから産後ケア事業の見直しなど、誰もがともに支え合い、安心して暮らせる地域づくりを推進するための予算を計上したところであります。

何卒、活発なご審議をお願い申し上げまして、私の挨拶といたします。

どうぞ よろしく願い申し上げます。

1 開会

（事務局）

それでは、ただいまより、令和6年度第4回「帯広市健康生活支援審議会」を開会させていただきます。本日の審議会には、審議会委員23名中19名の皆様のご出席をいただいております。本審議会は、審議会条例第7条第3項により成立しております。なお、委員の皆様のご紹介につきましては、お席の前の表示と、郵送にて事前送付いたしました委員名簿により、ご了承願います。

次に、本日の議題についてであります。会議次第のとおり予定しております。

では、本日使用いたします資料について、確認させていただきます。資料については、事前に郵送で送付いたしております。

- 資料1 帯広市健康生活支援審議会委員名簿
- 資料2-1 令和6年度 第2回 帯広市健康生活支援審議会議事録
- 資料2-2 令和6年度 第3回 帯広市健康生活支援審議会議事録
- 資料3 令和7年度予算案総括表と主要事業
- 参考資料 座席表

なお、事前にお送りしていた資料に加え、本日、資料3の7ページ目を追加したものを改めてお手元にお配りしておりますので、ご確認ください。

以上であります。資料が不足している方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

それでは、会議に入らせていただきますが、以後の進行につきましては、稲葉会長にお願いいたします。

(会長)

それでは早速議事に入らせていただきます。会長を務めさせていただきます稲葉でございます。

先ほど池原副市長よりお話がありまして、私達にも関係が深い、令和7年度の市民福祉部予算(案)等を審議する場となっておりますので、どうぞ忌憚のないご意見いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

では、次第に沿って進行させていただきます。

はじめに議題の(1)「令和6年度 第2回・第3回会議の議事録確認」についてであります。お手元の資料2-1と2-2の議事録をご確認いただきたいと思います。

この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定になっております。

議事録につきまして、皆様に事前にお送りしておりますが、第3回については、書面開催でしたので、改めて事務局より、資料2-2を基に、出された意見の概要と市の考え方について、説明願います。

(事務局)

それでは、書面で開催しました第3回の審議会の議事録について、ご説明いたします。

お手元の資料2-2をご覧ください。

開催日、出席委員、議題については、記載のとおりで、今回は、地域福祉計画とアイヌ施策推進計画について、パブリックコメントの結果と計画案への意見を委員の皆さんに書面で確認させていただいたもので、いただいた意見と市の対応の考え方について、1ページ目中段以降に表でまとめていますので、簡潔に説明させていただきます。

最初の意見は、老人クラブのクラブ数と会員数が減少を続けていることから、活動内容を検討する必要があるとのご意見、二つ目の意見については、民生委員やボランティア数の減少を踏まえ、早急に対策をすべきとのご意見でした。

それに対する市の対応としましては、ご指摘のような状況を踏まえ、市では現在、提出された提言書に基づき、様々な対策を進めているところですが、今後も地道な対策を継続していく考えです。

続きまして、2ページをご覧ください。

2ページ、一つ目の意見については、民生委員の相談件数が減少しているのは、民生委員への相談の仕方などが分からないことが要因と考えられるため、氏名や相談方法を広報すべきとのご意見でございました。

それに対する市の対応は、個人情報保護の観点から、民生委員一人ひとりの情報を公表することは難しいのですが、ご指摘も踏まえ、効果的な周知方法を検討していく考えです。

2ページ、二つ目の意見については、介護予防の「通いの場」などの自主サークルについて、新規立ち上げ支援だけでなく、既存のサークルの活動継続への支援も必要とのご意見でございます。

それに対する市の対応は、その重要性については、市も認識していることから、計画にもその旨を記載しており、今後も活動を継続しやすい環境づくりなどを検討していく考えです。

2 ページ、三つ目の意見については、成年後見制度の講習を受講したが、内容が多岐に渡り内容を十分に理解できなかったもので、成年後見に関する講習会を希望するとのことでした。

帯広市成年後見支援センター「みまもーる」で開催している講座は、資料の①と②の2種類があり、おそらく受講された講座が、資料の①の市民後見人を養成するための専門的な講座だったかと思うのですが、②のように敷居の高くない講座もありますので、一人ひとりのニーズに合った講座の開催方法や周知方法について、工夫していく考えです。

次に資料の3 ページをご覧ください。

3 ページ、一つ目の意見については、成年後見制度の利用者の増加を見据え、ケアマネ等への周知活動が必要とのことでした。それに対する市の対応は、ご指摘のとおり、成年後見制度の理解促進は、非常に重要と考えており、今後もケアマネ等の専門職に制度を理解していただけるよう、効果的な周知方法を検討していく考えです。

最後に、3 ページ、二つ目の意見については、市民意見交換で出された意見への共感や、行動に移すことの難しさ、自分にできることを実践することの大切さのご意見、三つ目の意見については、計画の内容が具体的でよかったとのことでした。

それに対する市の考え方は、計画は策定するだけでなく、その内容を市民の皆さんにご理解いただき、一人ひとりの行動につなげていくことが何より重要であることから、計画の内容の周知に努めていく考えです。

説明は、以上でございます。

(会長)

ただ今の説明も含め、資料2-1 と 2-2 の議事録について、何かご質問ご意見はございますか。

【質疑応答なし】

(会長)

よろしいでしょうか。では、ご承認いただいたということで、そのように公開させていただきます。

続きまして、議題の(2)「令和7年度 市民福祉部予算(案)について」を議題といたします。資料3をご覧くださいと思います。事務局、説明願います。

(事務局)

市民福祉部企画調整監の毛利でございます。それでは、私から令和7年度予算概要についてご説明いたします。

お手元の「資料3」をご覧ください。

1 枚目が、市民福祉部関係部分を抜粋した令和7年度予算案総括表、2 枚目からは、市民福祉部関係の主要な事業の資料となっております。

それでは、初めに予算案総括表につきまして、ご説明いたします。

まず、予算案総括表 a 欄は令和 7 年度当初予算（案）額、b 欄は令和 6 年度当初予算額となっており、一般会計につきましては、民生費と衛生費を合わせて 331 億 1208 万 6 千円であります。

令和 6 年度と比較いたしますと 21 億 2269 万 1 千円、率にいたしまして、6.8%の増となっております。

前年度と比較した主な増減でございますが、民生費の主な増減の要因といたしましては、社会福祉費では、社会福祉総務費の定額減税補足給付金の不足額給付の実施に伴う価格高騰重点支援給付金給付費の増、

障害者福祉費のサービス利用の増などに伴う障害者自立支援給付費の増、

児童福祉費では、児童措置費において制度拡充の影響の通年化に伴う児童手当の増のほか、公務員の給与改定を踏まえた公定価格引き上げに伴う私立保育所（園）運営費及び認定こども園施設運営費の増、

生活保護費では、扶助費の医療扶助の増加に伴う生活保護費の増、などによるものであります。

続いて、衛生費の主な増減の要因といたしましては、

保健衛生費、予防費の新型コロナワクチン定期接種費用の当初予算化に伴う感染症予防費の増や
带状疱疹ワクチンの令和 7 年度からの定期接種化に伴う予防接種費の増、などによるものであります。

また、一般会計に占める市民福祉部の予算の割合は、令和 6 年度は 33.3%だったものが、令和 7 年度は 35.3%と若干増加しております。

次に特別会計、表の一番下の欄になりますが、介護保険会計でございます。

令和 7 年度当初予算案は、170 億 2481 万 4 千円となっており、令和 6 年度と比較いたしますと、9799 万 5 千円、率にいたしまして 0.6%の減となっております。

その主な要因としましては、居宅介護サービス給付費の減などによるものであります。

続きまして、市民福祉部に関わる主要事業については、この後、専門部会もありますので、新規事業を中心に、抜粋して説明いたします。

資料 2 ページをご覧ください。

「定額減税補足給付金（不足額給付）給付事業」につきましては、昨年度給付した、定額減税しきれない人への給付金で、本来給付すべき額と昨年度の給付額との差額分を追加給付するものです。

次に、3 ページをご覧ください。

一番上「障害者理解促進事業」につきましては、手話言語条例制定 10 周年を契機に、障害者理解の促進を目的に体験型イベント等を開催するものであります。

次に、同じく 3 ページ下から 2 番目、「地域子育て相談機関整備事業」につきましては、母子保健と児童福祉の連携強化を通じ、子育てに困難を抱える家庭等への包括的な支援を行うこども家庭センターの設置にあわせ、子育て世帯の不安解消や状況把握の機会を増やすため、市内に 6 箇所ある地域子育て支援センターに地域子育て相談機関を新たに併設するものです。

次に、4 ページ中ほど、「児童保育センター運営事業」につきましては、待機児童の解消に向け、花園とつつじが丘の児童保育センターにおいてクラブを増設するものです。

次に、その下「公立保育所民間移管事業」につきましては、豊成保育所の円滑な民間移管に向け、引き継ぎ保育士の人件費支援や施設整備などを実施するものです。

次に、5 ページ一番上、「骨髄バンクドナー助成事業」につきましては、骨髄等の提供者に対し、助成金を交付するものです。

次に、その下「産後ケア事業」につきましては、産後うつや育児不安の軽減を目的に、利用期間の延長など、産後ケア事業を見直すものです。

次に、6 ページ一番上、「带状疱疹ワクチン接種事業」につきましては、4 月からの定期接種化に伴い、带状疱疹ワクチン接種費用の一部を新たに公費助成するものです。

最後に、7 ページ、「介護人材育成支援事業」につきましては、介護人材の安定的な確保に向け、資格取得費用の支援を実施するものです。

説明は以上であります。

(会長)

ただいまの説明に関しまして、何かご質問ご意見はございますか。いかがでしょうか。

(委員)

予算全体の話なんですけど、今 103 万円の壁というものが話題になっており、それが実現すると国全体で 7 兆円の減収になり、その影響が地方にも及んでくるのではないかという話が出ています。どうも最近の報道によると、それ自体はなくなりそうで、帯広市の来年度予算も過去最高という報道もありましたが、来年度の帯広市の税収は、十分な予算額が確保されていると考えてよろしいのでしょうか。

(事務局)

来年度予算は、十分な税収が確保できるとの見通しのもと、予算編成を行っております。

(委員)

来年度の予算総括表の介護保険会計で、居宅介護サービス給付費の予算額が減っているということは、居宅から施設に移る人が多くて、居宅介護サービスの利用が減っているということなののでしょうか。

(事務局)

居宅介護サービス給付費の予算額の減少については、元気な高齢者が増えていて、要介護度の変更申請をしても、重い介護度がつかず、状態を維持している方が多いことや、今年度より新しい計画がスタートしていますが、訪問介護など居宅系のサービスで、一部、計画の推計との乖離が生じているような状況にあることなどを踏まえ、予算編成に反映したものです。

(会長)

ありがとうございます。今年度の実績に応じて、予算をたてたということですね。

(事務局)

はい。

(会長)

分かりました。それでは、他に意見等がありますでしょうか。特に無ければ、「令和 7 年度 市民

福祉部予算（案）について」を終了いたします。

続きまして、その他について議題といたします。何かございますでしょうか。

【情報提供・質疑応答等なし】

（会長）

それでは、次に専門部会も控えておりますので、本日の審議会はこれで閉会といたします。

なお、事務局より連絡事項がございます。

（事務局）

それではご連絡いたします。この後 7 時 30 分から専門部会を開催いたします。

地域医療推進部会は第 2 会議室、健康づくり支援部会は第 4 会議室、児童育成部会は第 5 会議室 B、障害者支援部会は第 5 会議室 A、高齢者支援部会は第 3 会議室で開催しますので、それぞれの所属部会の会場に移動をお願いいたします。

連絡事項は、以上です。

（会長）

それでは本日はこれで閉会といたします。お疲れさまでした。